



耐久高等学校同窓会報

耐久



文化祭 9月14日(土)

吹奏楽部 中庭コンサートと
大盛況の同窓会コーナー

NO. 33



平成25年度 同窓会総会開催

平成25年9月29日午後一時から湯浅町地域福祉センターに於いて同窓会本部及び有田耐久会総会が開催された。今年度は下野同窓会長、柏原有田耐久会会長による最後の総会ということで各役員が呼びかけに努力し、約百名の参加を得て盛大に行われた。

第一部は、高校19期で前衆議院議員の西博義氏による「国会議員十九年に思うこと」と



講演 西 博義氏

題した講演から始まった。耐久高校時代の懐かしい思い出話から、ご家族のこと、そして国会議員時代

に尽力された教育や濱口梧陵翁に関係する郵政民営化、現在のアベノミクスについてまで幅広い内容で語られた。

続いてアトラクションとして、バルーンパフォーマー・バルーンシューさんが色とりどりの風船を使ってショーを披露。音楽に乗って次々と出来る上がる作品に見入った。

この後「耐久四代記念」直系家族が四世代



本部新役員あいさつ

にわたって耐久出身の三代目、木下智之氏（高29期）に下野会長から記念品が贈呈された。

第二部は三校歌斉唱に続き、下野憲英同窓会長（高13期）、柏原政夫美有田耐久会会長（高19期）が挨拶。

両会長は挨拶の中で会長の退任を報告、今まで取り組んできた活動を振り返り、同窓生に感謝の意を述べた。続いて堀潔学校長は映像で在校生の学校生活や学校の取り組みを報告された。

来賓として、西博義前衆議院議員（高19期）、吉井和視県議会議員（高22期）、松坂英樹県議会議員（高31期）、浦口高典県議会議員（理数3期）、上山章善湯浅町長（高10期）、西岡利記広川町長（高21期）、横山享関西耐久会会長（高14期）、地引民子関西耐久会幹事長（高17期）の方々が紹介された。

和泉保廣氏（高22期）が議長に選出され、先に本部同窓会議事が進められた。活動報告、会計・監

査報告、会則の改正案（会費の減額）が承認された。役員改選では下野会長、宮井副会長、法眼副会長、会計の半辺氏が退任、新会長に大西義弘氏（高16期）が選出され、新たに役員も決まり紹介された。

続いて有田耐久会議事が進められ、年会費を1200円に減額する改正案他全て承認された。こちらも役員の交代があり、新会長に吉松敏隆氏（高19期）が就任、新役員が紹介された。大西、吉松新会長はそれぞれ決意を述べられた。

同窓会役員として長きに渡って尽力され、今回退任される宮井慶三副会長の挨拶で総会は終了した。

この後懇親会が持たれ、来賓の方々に挨拶を頂いた。最年長の高垣源徳氏（旧中35期）の乾杯発声後、各テーブルで歓談が始まり、和やかな談笑の内にお開きとなった。



乾杯！



支部連絡先	和歌山耐久会	関西耐久会	関東耐久会	有田耐久会
	会長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	会長 横 山 享 幹事長 地 引 民 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台3-8-1 Tel 072-753-1219	会長 大 野 博 司 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520	会長 吉 松 敏 隆 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148

平成 25・26 年度 耐久高校同窓会本部役員

役 職	氏 名	期	委員会	新任
会 長	大西 義弘	高16		新
副 会 長	棚野 裕明	高18	会 館	
副 会 長	坂本美恵子	高18	組 織	新
副 会 長	見矢 義夫	高21	会 報	新
副 会 長	古川 友子	高26	組 織	
会 計	神田 公子	高25		新
常任幹事	坂本 康寛	高18	会 報	新
常任幹事	法眼 貞子	高19	会 報	新
常任幹事	池永 義子	高21	会 報	新
常任幹事	野下 康雄	高23	会 報	新
常任幹事	和泉 保廣	高22	組 織	
常任幹事	大浦 睦美	高28	組 織	
常任幹事	弓場 守	高30	組 織	
常任幹事	小畑 英三	高18	会 館	
常任幹事	花野 正彦	定11	会 館	
常任幹事	大西 和彦	高29	会 館	
会計監査	半辺みつ子	高18		新
会計監査	森岡 ゆか	高33		新
顧 問	下野 憲英	高13		
事 務 局	白井 敏之	高34		
事 務 局	川口 勉	高35		
事 務 局	戸川しをり	高36		

会報……会報委員会
組織……組織強化委員会
会館……会館建設委員会

このたび、同窓会長の大役をお引き受けし、身の引き締まる思いでございます。副会長はじめ、役員の皆様に支えられ新執行部がスタート致しました。

私は、会報委員として8年間、同窓会報の編集に携わってきました。毎号には、関東はじめ、関西・和歌山・有田耐久会や各期の同窓会の活動、現在、日本の国内外で活躍されています先輩諸氏の特集や講演会、俳壇・歌壇、学校の近況など掲載されています。



同窓会長 大西 義弘

ごあいさつ

それぞれが楽しく生き生きと活動されており、世代を超えて集う同窓生の固い絆、年齢を重ねて尚、益々深くなる同期の友情、母校に寄せる熱き想いなど同窓会の伝統の重みが強く感じられます。

昨今、時代の趨勢とともに学校を取り巻く状況も大きく変化してきています。輝かしい歴史と伝統をもつ我が母校が、未来に向けて益々発展するよう、母校の応援団として支援を進めていきたいと考えています。

皆様方には今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

会長の横顔

- ・湯浅町在住、高校16期。
- ・吉備中、耐久中教諭を経て、有田地方教育事務所指導主事として勤務。
- ・田栖川小、湯浅小、鳥屋城小、山田小学校の教頭、校長を歴任。
- ・平成18年3月定年退職後、湯浅町教育委員会少年センターに勤務。

会則改正について（本部）

平成 25・26 年度 有田耐久会役員

役 職	氏 名	期	新任
会 長	吉松 敏隆	高19	新
副 会 長	池辺 正晴	高15	
副 会 長	山崎 佳彦	高22	新
副 会 長	三角 治	高25	
幹 事	和泉 保廣	高22	新
幹 事	鈴木 宏明	高28	
幹 事	谷岡 義則	高29	
幹 事	弓場 守	高30	
幹 事	山田 展生	高31	
会計監査	生駒 正剛	高34	新
会計監査	柳 実	高19	新
事 務 局	古川 友子	高26	
事 務 局	宮井 順子	高28	
事務局会計	大浦 睦美	高28	
顧 問	下野 憲英	高13	
顧 問	柏原政夫美	高19	
学校事務局	川口 勉	高35	

第7章 会 計

第13条 会員は入会に際して入会金を納入する。入会金は全日制10,000円・定時制5,000円とし、増減の必要あるときは役員会において決する。但し、必要に応じ総会の承認を経て臨時費を徴収できるものとする。

↓

改正（案）

第13条 会員は入会に際して入会金を納入する。入会金は全日制5,000円・定時制2,500円とし、増減の必要あるときは役員会において決し、総会で承認する。但し、必要に応じ総会の承認を経て臨時費を徴収できるものとする。

改正理由

- 1 授業料無償化、PTA会費の節減ほか、昨今の経済的事情から保護者負担を軽減するため
- 2 和歌山県内の各高校の同窓会費の調査結果から他校との格差を是正するため
- 3 現入会金は、創立150周年記念事業の財源を確保するため改正されたもので、昨年160周年記念事業も実施されその役割を果たしたため。

会則の改正について（有田）

第6条を次のように改める。

旧 第6条（会費） 年2,000円とする。但し、生計を一にする世帯で1名追加ごとに1,000円とする。

↓

新 第6条（会費） 年1,200円とする。但し、同一世帯の複数会員についても左記会費に含まれるものとする。

母 校 へ の 、 ご 理 解 と ご 支 援 を ！

同窓会長退任挨拶

下野 憲 英



この度、歴史と伝統を誇る本校同窓会長を4期8年間努め退任させて頂くことになりました。その間浅学非才の身でありながら多くの皆様のご指導とご協力によって、貴重な経験をさせて頂き厚く御礼申し上げます。

平成17年度に、スリム化された役員構成のもと母校発展の応援団として、責任を感じつつも楽しく活動していこうとスタートしました。

振り返りますと、関東・関西・和歌山の各支部の総会に出席する度に、同窓諸兄姉の皆さんと同じ空気が漂う温かい雰囲気の中で交流を図ると共に母校への熱い想いと深い絆を感じました。

各支部が活発に活動されているなかで、地元有田で生活し、また、勤務する身近な同窓生が母校への関心と連帯を深め、母校を応援するため有田耐久会設立への声

が大きくなりました。平成19年度から設立に向けての具体的な方策を本部組織強化委員会を中心に検討してから2年余り、平成20年8月に念願であった有田耐久会を設立することができました。今後5年間の活動から更に充実されるものと期待しています。

平成20年10月に学校行事の総合防災学習で実施された、同窓会有志を中心に生徒と職員も加わった朗読劇「生ける神濱口梧陵」で村人のひとりに出演、本格的な指導者の下何度も練習を繰り返し、迫真の演技とスライドに優れた音響効果等で、生徒達の真剣に聞き入った様子が忘れられない思い出となりました。その朗読劇がCDに収録され防災教育の必要性が叫ばれている昨今貴重な保存版となりました。

本校の同窓会報は、故橋本前会長が創刊されてから第33号を数え、各方面からのおほめと期待があり、最大の活動となっていました。発行には投稿や広告協賛にご協力頂き、会報委員の皆さんには毎号充実した内容を掲載して頂きました。また、懸案であったホームページに載せることができるようになりました。

節目であった一昨年の創立160周年記念事業も、実行委員会や多くの皆様のご協力により、輝かしい歴史と伝統を築き上げ

た先賢・先輩に感謝するとともに、明日への発展を誓い成功裡に終了することが出来ました。

今後の母校について、様々な教育の変遷のなかで有田からは通学可能範囲にある、私学や和歌山市内・海南の公立高校へ多くの中学生が進学する現状を、地域発展のためにも有田の子は有田へ進学するよう本同窓会として何をなすべきか、どう支援すべきかを考え、学校と一体となって取り組んでいかなければなりません。また、長年の悲願である同窓会館についても、歴史と伝統のシンボルとして灯を絶やすことなく、建設に前向きな研究を進めなければなりません。など幾つかの課題もありますが、大西義弘新会長はじめ新役員の皆さんに託したいと思います。

その他様々な活動を思い出しますが、役員の皆さんには随分支えて頂き終始楽しい8年間でした。

母校の伝統と歴史は、私達の誇りであり、心の絆でもあります。この伝統の灯を燃やし続け、そのうえに新しい歴史を築き更なる発展を祈念いたします。

今日までのご支援とご協力に對し御礼と感謝を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

「稲むらの火祭り」参加

平成25年10月19日(土) 夕刻、下野憲英顧問、吉松敏隆有田耐久会会長、同窓会員十数名が、松明を片手に広川町庁舎から八幡神社まで行進しました。

途中前後を見渡すと、暗闇の中で松明の火は数キロに連なり勇壮で幻想的な光景でした。神社の鳥居下の田んぼの「稲むら」に点火された瞬間、炎は大きく燃え上がり、大きな歓声が沸き上がりました。まるで「稲むらの火」の世界にいるようでした。神社に到着し松明を奉納したあと、とても美味しい「稲むらうどん」を振舞っていただきました。

荘厳で厳粛な儀式に今回初めて参加し、改めて母校の創設者「濱口梧陵翁」の遺徳を偲ばせていただきました。

同窓会長 大西 義弘(高16期)



損害保険・生命保険・ ファイナンシャルプランナー事務所 和歌山FP総研 代表 川島忠弘 (高37期・S60年卒) wfp-soken@ares.eonet.ne.jp http://wakayama-fp.com	小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbtts.jp	株式会社 和通 代表取締役 中田 實宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320	田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299	丸新本家 〒643-0004 有田郡美山町美山1466-1 http://www.marushinbonke.com 湯浅醤油(有) 〒643-0004 有田郡美山町美山1464 http://www.yuassasyouyu.co.jp
---	--	--	--	---

メールアドレス jimukyoku@taikyukai.net

特集

夢

— 明恵の夢 私の夢 —

前 寿 二



昨秋、金屋出身の明恵上人のことを書いた「明恵さん」という本を文芸社から出版した。

明恵上人を初めて知ったのは、御霊中学生の頃、木村静雄校長先生直々の歴史の授業で、この有田地方のしかも我々の近くの吉原から、とても偉く著名な人が出ている旨教えて下った。その人の名は「明恵上人」です、と黒板に大きな字で達筆で書いてくれ、短い時間ながら、その功績をかいつまんで説明されたことを、今でも鮮明に覚えている。

私が耐久高校に入学したのは昭和三十三年のこと。耐久を選んだ理由は県でも一流の高校であり、学帽の白い三線にこよない憧れを抱いていたからであった。吉備町の実家から毎日、有田鉄道で、弁当を持って通ったものだ。クラブ活動もいろいろあったが、私は文芸部に所属していた。「あさも」なる雑誌を確か季刊していて、生意気に短歌や詩や小説を書いていた。当時の

夢は作家か詩人になることであつた。ちょうど大学受験のころ、「忍ぶ川」という題の小説が芥川賞をとり三浦哲郎という作家が華々しく文壇デビューを果たした。刺激された私は、彼と同じ大学の同じ仏文科に一旦入学手続きをしたが、祖母が法律科を希望したので手続きのやり直しをして、その後文学の道は諦めた。仕事も全く違った分野の、お金を扱う仕事で定年を迎えた。

定年後も俳句は習ったものの、ピアノ等の稽古事に熱中した。ところが、古稀を迎える間近、急に小説が書きたくなった。そのとき思い出したのが明恵上人である。若いころの夢が突然首を持ち上げてきたのである。夢中になつて京都では梶尾の高山寺を訪ね、応対していただいたお坊さんに明恵上人の人となりとか、お茶を広めた話とか、その他色々教えていただいた。またその隣の神護寺にも行き、資料の調査をした。

湯浅町では、栖原の施無畏寺で中島住職にお話を伺い、沢山の資料を頂戴した。そして、その近くの修行地である東・西白上を見て回った。有田川町では、金屋の明恵上人の生誕



明恵上人樹上坐禅像
(国宝・高山寺)

地や、子守の女の子が入水した「森瀧(守が瀧)の祠」や歓喜寺、田殿の「お大師さん」と呼ばれる小山等あちこち見て回った。そうして、取材メモや集めた資料を基に、一年がかりで一編の小説を書き上げ、題は冒頭のとおり「明恵さん」とし、ペンネームは前 寿人とした。

明恵上人の修行やかの親鸞、西行、文覚、栄西、北条泰時等との交流についてその他に、母の実家である湯浅一族のことが主な内容である。

明恵上人は誰よりも釈迦に憧れを抱いて修行した人であり、「人は、あるべきやうわ、の七文字を持つべきなり」として「阿留辺幾夜宇和」の漢字をあてている。今の自分はいかにあるべきか、という事を自分に問いかけてみるのが大切であることを教えている。そしてまた、明恵は現実に見ることが多かった。毎夜のように見た夢を日記のごとく記されたのが「夢の記」である。修行時代、明恵に師はいなかったもので夢の中で弘法大師に教えを乞い、弥勒菩薩のいる天界に誘われ心が癒やされた。



明恵生誕地碑文 (旧金屋町歓喜寺)

私も夢多き人生で、今も夢を抱いている。夢をもつことは大事なことだと思う。体の弱い私が元気に古稀を過ぎることができたのは、将来への夢がまだ残っているからであろう。

そして今、在学中の生徒諸君に夢を持つことをお勧めする。どんな夢でもいい。実現するかは焦ってはいけない。今後の私の夢というと大げさであるが、楽しみは、有田地方の先人のことをもっと知ることである。例えば、耐久高校の基である耐久社を創った濱口梧陵、菊池海莊や栖原角兵衛、紀伊国屋文左衛門、少し広げて南方熊楠、陸奥宗光等。

その上、もう一作品つくるのが実現不確かながら私の夢である。

プロフィール

- ・昭和17年旧清水町生まれ
- ・耐久高校13期(昭和36年卒)
- ・慶應義塾大学卒業
- ・銀行勤務・定年退職
- ・埼玉県在住

学校支援活動

「がんばれ母校！先輩が先生」



12月16日(月)「がんばれ母校！先輩が先生」講演会が開催されました。今年の講師は昭和49年に本校を卒業された理数科3期生で、東京都スポーツ振興局理事(オリリンピック・パラリンピック大会準備担当)の雑賀真先生。「東京オリリンピック・パラリンピック決定の道のり」というテーマでご講演いただきました。

先生が2020年東京オリリンピック・パラリンピック招致活動に携わり、招致が決定するまでの経緯やこれまでの体験を通して感じられたことを中心としたお話でした。特に注目すべきは、前回の招致活動をもとに日本・東京の長所と弱点をしっかりと分析されていたという点です。そしてこの大仕事を成し遂げられたのは、夢と情熱を持ちつづけ、国民の世論を巻き込むオールジャパン体制で一致団結できたことに勝因があったと語られました。

今回のご講演は、高校生が普段の授業等では触れることのできな

い貴重な内容であるとともに、日本人全員が歓喜した東京オリリンピック招致決定という誰もが聞きたい内容でしたので、生徒・教職員・同窓生も含め、大変興味深く聞かせていただきました。高校生にとって将来を考える上で、大きな目標を持ち情熱を持って取り組むことの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

生徒感想記

生徒会長2年7組 芝 竜之介

今回の「先輩が先生講演会」で雑賀真先生のお話を聴いて、東京オリリンピック・パラリンピック招致への準備内容や開催決定後の施設、交通などの改善内容を詳しく知ることが出来ました。そして東京オリリンピック・パラリンピックにさらに興味を持ちました。その中でも最も興味深かったのは、競技施設の完成予定図でした。色々なスポーツの競技会場がとても広くたくさん観客が収容可能で、様々な趣向が凝らされ、楽しそうな雰囲気がありました。そのような環境の中でプレーする選手たちがうらやましく思いました。自分は東京五輪の年には選手として出ることがまだ可能な年齢なので、できれば何かの球技で出場できたらという大きな夢をもっています。



雑賀先生のお話を聴いて改めて分かったのが、「何か大きな目標を達成するためには、準備や努力を多く積み、挑まなければならない」ということです。今年、僕たち2年生は3年生になり、受験や就職といった人生の中で大きな目標がある年です。まずはその目標に向けて努力をしていかなければいけないと強く決心しました。

同窓会活動報告

2013(H25)年

- 9. 3 同窓会特別委員会
- 14 耐久高校文化祭への参加
- 18 役員会
- 25 本部・有田耐久会合同会議
- 29 平成25年度総会(湯浅町福祉センター)
- 10. 5 関西耐久会総会(ホテル大阪ベイタワー)
- 24 同窓会特別委員会
- 11. 21 同窓会特別委員会
- 12. 5 会報編集委員会

2014(H26)年

- 1. 2 組織強化支援事業高62期同窓会(橋家)
- 3 組織強化支援事業高34期同窓会(橋家)
- 24 役員新年会・本部有田耐久会歓迎迎会
- 2. 3 会報編集委員会
- 28 卒業生クラス代表との懇談会
- 3. 3 第66回卒業証書授与式

組織強化支援事業

平成17年度より毎年
①卒業後4年を経過した学年
②50歳になられた学年
これら2学年を対象に同窓会開催を呼びかけ支援(案内状に対する経費負担等)を行うもので、毎年大変喜ばれております。

次はあなた達の番です！

- ・高63期(平成23年3月卒業)と
- ・高35期(昭和58年3月卒業)

上記、期の幹事・世話人の方には今から計画・準備をお願いします。すばらしい集会を演出して下さい。

情報ボックス

則岡 宏 牟 (高18期) www.sunnyside-nn.net	総合ビルメンテナンス業 (株)ワイ・キャン・コーポレーション 代表取締役 岡 伸彦(高14期) 社長 岡 勇作(高19期) 大阪市旭区中宮4丁目14番9号 TEL 06-6954-0346 FAX 06-6954-0577	ペットと泊まるログハウスの宿 パートナーズハウスゆあぞ 横山 享 (高14期) 湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL: http://www.partnershouse.jp	order kitchen maestro 尾崎家具装飾株式会社	SHIMODE DENTAL CLINIC 医療法人 わかしお会 下出 歯科 下出 優 (高・理数2期・S48卒) 有田郡広川町広292-1 TEL (0737) 63-6482
--	--	--	--	---

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

関西耐久会

落語で大笑い、
楽しい関西耐久会！

平成25年10月5日(土)、ホテル大阪ベイタワーから150人の笑い声が聞こえてきました。関西耐久会の始まりです。今年は、日本の古典芸能である落語をみんなで楽しみました。

横山亭会長のお知り合いの笑福亭仁智師匠がお忙しい中、時間をやりくりして1時間みっちり笑いを提供してくださいました。大阪と東京の違い、うどんや焼き芋の食べる様子、藪医者の話など次々と名人芸を惜しげもなく披露してくださいました。おかげで、会場は笑いっぱいになり、和やかな雰囲気が漂いました。

落語が終わった後にもサプライズが待っていました。神妙に赤いバラの花束をプレゼントしたのは18期生の二階利禮さん。師匠をはじめは何も気にせず花束を受け取りました。が、その顔を見たとき

「二階ドクター!!」と絶句。二階さんは師匠の主治医だったのだそうです。

総会は、恒例の10期秋平温子さんと13期菊山ひろみさんのリードによる校歌斉唱、横山会長の挨拶、同窓会新会長大西義弘様からのご祝辞に



続き、堀澤校長先生からは在校生の活動の様子をDVDで見せていただきました。

そして、いよいよ懇親会の始まり。乾杯は高等女学校22期の伏木富紀子様。ホテルのご馳走に加え、紀州の味覚も登場。

鯖なれずし食せば
故郷近くなり

期を越えての楽しい会話や懐かしい出会い、同期だけでは味わえない先輩後輩の語らいの輪が広がります。20年もの年の差があってもクラブ活動が同じというだけでも話が弾みます。

10期の戎子さんのハートモ二カに合わせ、「ふるさと」をみんなで歌ったあとは、各期ごとの写真撮影です。今年もやっぱり15期が26人で第1位でした。

このあと、超若手の皆様による力強いエールで、これからの関西耐久会のますますの発展を確信しつつ、則岡宏牟副会長の終わりの挨拶で幕を閉じました。

このような楽しい関西耐久会が出来たのは、各期の幹事が6月から準備を続け、根気強く同期の人たちに呼びかけて来たことが実を結んだのでしょう。

平成26年は、10月5日(日)です。ご予約よろしくお願ひします。

幹事長 地引民子
(高17期)



関東耐久会

秋の行事開催

十一月十日、関東耐久会は恒例の秋の親睦会を開催しました。



今回は、四月に完成し開場したばかりの新歌舞伎座で、歌舞伎を観劇しました。

この日の演目『仮名手本忠臣蔵』は、江戸時代の赤穂浪士討ち入り事件に材を取った物語で、歌舞伎三大名作の一つ、義太夫狂言の傑作とされ、有名な「松の廊下」の場面や、主君の無念の切腹と、大星由良之助が主君の仇討を決意する歌舞伎屈指の名場面を観劇、堪能しました。

参加者からは、「夜の部の討ち入りの場面も観たいね」という声も聞かれました。

三時間半に及ぶ舞台は全く飽きることなく、歌舞伎の様式美に、「なるほど世界に誇る日本文化の粋」との感を深くしました。

観劇の後は、場所を浜離宮を一望するレストランに移し、和やかに歓談、散会しました。

参加して下さった皆様にお礼を申し上げると共に、次回もより多くの皆様の参加をお願い申し上げます。

副会長 富山 節子(高20期)

第9回 ゴルフコンペ開催

第9回の関東耐久会ゴルフコンペを平成25年9月6日に千葉県東京湾カントリークラブで11名の参加により開催しました。

当日は、晴天ではなかったものの、残暑も一休みの曇り空の中でのプレーでした。

参加者の平均年齢は70歳を超えていましたが、全員元気にプレーし無事終了することができました。

優勝は、36年卒(高13期)の

関東耐久会総会のご案内

とき 平成26年5月11日(日)
ところ 池袋ホテルメトロポリタン
講師 藪添 泰弘 元校長

組織強化支援活動



高34期

高34期同窓会「五十歳の再会、感謝の気持ちを忘れずに」



新春を迎えた1月3日、第34期生（昭和57年卒業）の同窓会が有田市「橘家」にて開催された。卒業後32年を経て初めての開催にもかかわらず、同期生165名と恩師の先生方10名の総勢175名の参加者が集い盛大に催された。開会に先立ち、受付で名札（卒業アルバム個人の写真入り）を受け取ると、お互いに当時の容姿を思い出し、気分は高校生。集合写真を撮影し会場へ移動、各クラスのテーブルに着き、坂頭、生駒正、辻岡（勝丸）の3名による司会進行で開式した。

白井幹事長からの開会挨拶に続いて、物故者への冥福を祈り全員で黙祷を捧げた。当時8組担任の吉松敏隆先生に御挨拶をいただき、6組担任の垣内惇三先生の乾杯の御発声で「五十歳の再会、感謝の気持ちを忘れずに」をテーマとした同窓会が開宴した。幹事団が思いを込めて作成したDVD「思い出の卒業アルバム」・「欠席者からのメッセージ」が上映されると、当時の記憶が甦る。わずか15分間に出席者全員の高

校時代のそれぞれの思い出が凝縮されていてとても感動的であった。続いて、これも幹事団が思いを込めて作成した本日のイベントの目玉、クラス対抗「クイズあの日を思い出せ」が始まった。『修学旅行で乗った船の名前は？』『当時の留學生の名前は？』『記念すべき第一回ロングハイキングでビリーでゴールした人は誰？』などの珍問に「そんなん覚えてないわ!」と不満を言いながらもいつの間にか必死に解答し、正解の発表に会場は爆笑と拍手喝采で大いに盛り上がった。出席者は、各テーブルを巡り、仕事、趣味、家族、健康など尽きることのない話題で盛り上がる。あつという間に約三時間の宴会もお開きの時間となった。新しい幹事団を紹介し「次回も元気で集まろう」と呼びかけ、校歌を全員で声高々に斉唱した。最後に、上野（蜂谷）副幹事長が挨拶をし、「二本締め」で閉会した。

その後も、場所を変えての二次会が行われた。話し足りない、飲み足りない仲間たち。そして、三次会、四次会、なんと五次会へ、時間の経つのも忘れて語り合った。最後に、皆の健康と再会を願い、名残り惜しさの中で充実した一日が終了した。

長い人生の節目節目で、人それぞれの幸せの基準は違ってくる。高校生活の中で良き仲間に出会えて幸せだと思ふ。そして「今が幸せである」と感謝して一日一日を過ごせるのが何よりである。

幹事団代表 湯田 良英

高校34期生様から六一、九二五円をご寄付頂きました

高21期

7・8組同窓会「芝徳会」

芝田榮一先生と清水徳一先生に二年間担任していただいた私たち「芝徳会」が、二年毎に開催されるようになって久しい。前回の還暦の会までは芝田先生にもご出席いただいていた。毎回30分程の芝田講座に耳を傾け、当時の世界史の授業を思い起こしながら、探究心に溢れる熱いメッセージを受けとめ、生きる糧をもつことの大切さを実感したものです。

八月に届いた今回の案内は以下の通り。「大相撲も始まり、前回の約束どおり、『大阪場所』開催の運びとなりました。

楽しい老い先？も見えてきたお年頃。お互い元気で生きてる喜びを分かち合いましょ。心ならずも欠席の方どっこい生きてまっせ」と近況などお知らせいただければ幸いです。二〇一三年十一月三日（日）十一時半〜ダイナミックキッチン&バー「燦」ヒルトンプラザウエスト6階

当日、四人で待ち合わせ、列車で合流。早目に着いた所はのっぽのビル街。ヒルトンビルのお洒落な一角に三十四名が集いました。

懐かしい笑顔と相変わらずの喋り方は、まるで当時の教室での会話のよう。初めて参加できた人もいつも参加している人も笑顔満面、思い出話に花が咲き、全体の間では、それぞれの近況などを報告していました。一次会の締めくくりは「東雲なびく」校歌の熱唱。

他の方にはちよっぴり迷惑をかけながらも、一階ロビーで記念写真をパチリ！これだけはそれなりの姿が正直に残りますが、いつか思い出の宝物になるのですね。二次会全員でカラオケに。最後は「高校三年生」を肩



橘家
Wedding Hall
TACHIBANA

橋爪正文(高39期)

ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL <http://www.tatibanaya.jp>

〒649-0434 有田市宮原町新町17

医療法人 若葉会

ながたに歯科
長谷晋作(高33期)

TEL:0737-63-4182
湯浅町湯浅1456-8
休診日:木、土午後・日・祝日



株式会社 柏原運送

柏原 政夫美(高19期)
〒643-0032 有田郡有田川町天満 60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

がんばれ耐久

高21期 7・8組
「芝徳会」

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)



高62期

第62期同窓会を終えて



平成二十二年度卒業生の同窓会を一月二日、橘家にて開催しました。高校卒業後初となる今回の同窓会では、卒業生百十三名と恩師である先生方五名(安原・白井・山中・嶋田・水野先生)が参加してくださいました。

まず幹事を代表して私(田口)が挨拶をし、白井先生の乾杯の音頭から始まった今回の同窓会。お世話になった先生からのビデオレター、ビンゴゲームを行い、大いに盛り上がりしました。クラスごとに席に着き、それぞれの担任・副担任の先生を囲み、就職の話や高校時代の懐かしい話に花を咲かせていました。卒業して四年が経過しても、高校時代と変わらぬ笑顔で友達や先生方とふれあい、同窓会を楽しむ光景がこちらで見られました。

ビデオレターでは、ご欠席なさっていた担任の先生を中心に、五名の先生にご協力していただきました。ビデオレターから流れる懐かしい先生方からの気合の入ったメッセージをうけ、会場は一層賑やかになりました。ご出席いただいた先生方とのお話しも盛り上がり、まるで高校時代にタイムスリップしたような感じがしました。続いて行われたビンゴゲームでは、中西君・中前君の司会の下、景品のポータブルテレビやデジタルカメラをめあてに、皆ドキドキしながら楽しくゲームに参加していました。最後に司会の中前君が得意のラップを披露し、会場はさらにヒートアップしていました。

最後は全体の集合写真を撮影しました。撮影では自然と距離が縮まり、肩を組み合い、心からの笑顔になっていたのがとても印象に残っています。同窓会を行っていた三時間はあっという間に過ぎましたが、先生から教わった多くのこと、仲間とともに取り組んだクラブ活動など、懐かしい高校時代の思い出がよみがえってきました。

今年の春から、私たちのほとんどが社会人となります。このような素晴らしい思い出を大切に、またかけがえのない出会いを大切に、それぞれの人生を歩んでいきたいと思っています。いつの日か、今よりも成長した姿で皆と再会したいと心から願っています。

幹事代表 田口 貴浩

を組んで歌い、熱い思いをつなぎ合いました。去り難い思いを次回への約束で包み込み、大阪駅の水の映像を見て別れました。

二年後は桜舞う耐久高校での再会予定。

”同窓会 夢追う日々を共にした友と語るは 今追う夢なり”

義子

集合写真と共に送られてきた河上幹事さんからの便りを次に記します。

「集合写真は老眼の目にはあまりシャープでないことが私には辛い。今回の同窓会は、それなりの年齢になったからか、色々と感じることが多い会でした。『命短し恋せよ乙女』……皆あつという間にターミナルに到着しそうな年齢になってきましたが、芝田先生(91歳)のお元気な13頁にわたるメッセージ(本版手書き)を読み、人間与えられた命は全力で全うするべきとの思いを新たにしました。

昔の乙女は皆さすがに幸せオーラいっぱいマダム姿。白髪・薄毛の紳士は少々病氣我慢が多かったようですが、しぶとく皆それなりに上手く人生をリセットされ、生き生き

されていて、とても嬉しく思いました。竹馬の友との語らいはやはり懐かしい安心感でいっぱい。

これからも時には女の子・男の子に戻る楽しい時間が持てることを願いました。」

幹事の一坪君・寺村君にも感謝しつつ…。

池永 義子



Total Printing System
ICHIJYO
株式会社 一条

和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 Tel.073-423-6950
(市民会館前) Fax.073-423-6955

日本料理 **うさ丸**
前田利三 (高12期)
有田郡湯浅町庁舎前
TEL 0737(63) 2929

法眼米穀店
湯浅 62-2438
法眼 正和 (高13期)
法眼 貞子 (高19期)

おもちゃ館
3月16日再オープン
(土、日、祭日)
グリーンソサエティ
0737-63-0401

coffee & restaurant
DONKEY
ドンキー
上山哲司 (高28期)
湯浅町駅前通商店街 TEL.62-3135

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。



高13期

高校十三期同窓会報告

今年はいつになく猛暑日が長く続き、又雨もなかなか降らずミカン農家にとっては灌水に追われる日々。八月二十四日(土)、やっと雨が来そうな空模様の中で和歌山市のホテル『ホテルグランビア和歌山』において昭和三十六年卒業の第十三期同窓会が開催されました。今回は七十七名(男子三十名・女子四十七名)の参加を得て盛大に開催することができました。開会に先立ちホテル内のスタジオで集合写真を撮影し会場へ移動、各クラス単位(六クラス)に並べられたテーブルに着席しました。先ずこの会の計画立案の中心になってくれた下野君より事務連絡があり、その中で同窓会報「耐久」につ



いてホームページで閲覧できるようにになったとの報告がなされました。会の司会進行役である浅井康次君より開会宣言があり、まず恩師や級友の物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げました。続いて全員で声高らかに校歌斉唱、三番を歌う頃には高校時代にタイムスリップしたかの雰囲気になりました。開会の挨拶は、吉本

恵祐君により参加者へのお礼と同窓会の意義が語られ、卒業後五十三年が経ちましたが今日は十八歳に戻って大いに楽しもうではありませんかとアピールがなされました。石田房次君の乾杯の発声でお互い集いあえた喜びに感謝、グラスを鳴らしあい暫し食事と歓談の時を楽しみました。その間欠席者からのメッセージハガキが回覧され、欠席者の方々の近況に思いを馳せました。宴たけなわの中、世話人の方々が準備してくれた各クラスの思い出の写真がスクリーンに投影され暫し高校時代の自分と向き合い又その頃の話に花が咲きました。宴会も一段落したころカラオケタイムとなり歌自慢・のど自慢の方々が舞台上がり、雰囲気盛り上げてくれました。約三時間の宴会も早々と過ぎ去りお開きの時間となり幹事を代表して田端美鈴さんが閉会の挨拶をされ、時を忘れ現実を忘れ懐かしい時間を過ごせたことの喜びが語られました。次回は喜寿を迎えた時に開催することになり、みなさん健康に留意されんことを願い、挨拶を締めくくられました。解散前に全員で「ふるさと」を合唱し名残を惜しみました。解散後もホテル内の喫茶コーナーでおしゃべりを楽しんだり、場所を変え二次会を楽しんだりとクラスごとに名残を惜しんだようです。

さてこの原稿を書いているとき、大ニュースが飛び込んできました。七年後の二〇二〇年に東京オリンピックが開催されるということです。一生に二回もオリンピックが経験できるとはなんと幸運なことでしょう。次回の同窓会(六年後)もさることながらオリンピックの観戦を元気に迎えられるよう頑張りましょう。

十三期同窓会は、耐久同窓会長でもある下野君のご尽力によりスムーズに開催されていることに厚くお礼を申し上げ又耐久高校事務室をはじめ多くのかたがたのご協力により開催できましたことに感謝を申し上げます。

生馬 敏賀



高30期

第30期生同窓会

われ、男子51名、女子46名の参加でありました。

天気にも恵まれ正月ならではの快晴で暖かい一日でした。今回、先生方は、他の同窓会と重なっているということで参加されておりませんでした。早いもので、卒業から二次会から参加されたようです。早いもので、卒業から36年もの歳月がたちすつかりおじさんおばさん化(失礼)してしまいい、その間、4回(?)もの同窓会が行われ、あれ!この人誰だっけから始まり、おっ!久しぶりになり、知らないうちにメアド交換、よく連絡とるようになりました。



懐かしい思い出話に始まり、近況の話まで同級生ならではの肩書抜きの楽しい話で毎回もありがります。3年1組のみんな、次回はずいぶん全員参加目指しましょう!今回も17名参加。学年一番の参加率です!!2組は三人やでもっと来てね(こんな個人的な感想っていいのかね?)今回は学年ぴか一女子3人組によるキャンディーズの登場もあり宴会場は異様な盛り上がりを見せてくれました。その3人も当時と変わらなくお茶目で、かわいく、3、4曲キャンディーズの曲を披露してくれ、同級生総立ちと一緒に歌っておりました。今回で5回目を迎えたわけですが、まだ卒業以来初めて見る顔もあり、酒を酌み交わしながら思い出話に花が咲きます。盛り上がり過ぎて今度は長年やっていない中

2014年1月3

日(金)、民宿「松林」

において第30期生卒業の同窓会が行

24 年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

1. 収入の部

	24 年度予算額	24 年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	2,700,000	2,785,000	85,000	全日制 275 名 定時制 7 名
会 報 広 告	100,000	56,700	-43,300	会報 31 号広告代
会 報 協 賛 金	200,000	142,600	-57,400	有田耐久会他より
寄 付 金	200,000	180,000	-20,000	会館建設基金へ
雑 収 入	30,000	1,299,917	1,269,917	利息・会員名簿作成賛助金他
記 念 事 業 戻 り 金		1,162,962	1,162,962	160 周年実行委員会から返戻
収 入 計	3,230,000	5,627,179	2,397,179	
前 期 繰 越 金	1,429,705	1,429,705	0	
収 入 合 計	4,659,705	7,056,884	2,397,179	

2. 支出の部

	24 年度予算額	24 年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	50,000	34,930	-15,070	役員会議他
渉 外 費	100,000	43,210	-56,790	タイムス他広告費
負 担 金	100,000	46,000	-54,000	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	150,000	148,960	-1,040	
運 営 費 計	400,000	273,100	-126,900	
2. 活 動 費				
総 会 費	0	0	0	
母 校 援 助 費	400,000	473,952	73,952	国際交流・全国大会出場祝・文化祭応援
同 窓 会 報 費	700,000	553,710	-146,290	会報 30・31 号印刷・封筒・郵送代
助 成 費	200,000	161,360	-38,640	各支部・期への援助
雑 費	200,000	37,107	-162,893	振込料他
活 動 費 計	1,500,000	1,226,129	-273,871	
3. 諸 費				
事 務 費	100,000	38,000	-62,000	切手・はがき代他
慶 弔 費	100,000	112,980	12,980	香典・生花・弔電他
払 戻 金	50,000	60,000	10,000	転出生
諸 費 計	250,000	210,980	-39,020	
支 出 計	2,150,000	1,710,209	-439,791	
4. 繰 出 金				
基 本 金	270,000	280,338	10,338	利息増 きのくに信用定期へ
積 立 金	200,000	1,362,962	1,162,962	160 周年実行委員会から返戻金と利息増
同 窓 会 館 金	500,000	1,784,916	1,284,916	利息増と会員名簿作成賛助金から入金増
繰 出 金 計	970,000	3,428,216	2,458,216	
5. 予 備 費	1,539,705		-1,539,705	
支 出 合 計	4,659,705	5,138,425	478,720	
次 期 繰 越 金		1,918,459		

今回の同窓会は、60歳のときに行うという事です。その時まで、みんな体に気をつけて元気で顔を合わせられるようにしたいものです。今回も総勢97名の参加があり、無事同窓会を開催できたことは、ひとえに幹事さんたちのおかげだと思います。各クラス一名ずつの幹事さん、たいへんご苦労さまでした、ありがとうございます。しかし、次回、次々回と少しでも参加人数を増やしてもっともっと、思い出話でおいしいお酒飲みたいものだと思います。次回まで、みんな元気でね。幹事さん、ご苦労様でした。またの機会にね。

田島 良介



学校の同窓会もやろうと言うことになり、同じ中学校同士で写真撮るまでに!!今では便利な時代になり、携帯電話で写真を取り合ったりメール送れば写真まで送れる、なんと便利な時代になったものだなー、当時の先を調べるには調べやすくなりましたが。一方で、悲しい話も。何人か亡くなっている事も聞き、当時の話で涙する場面もあり、同窓会に出られない分しつかり思い出話をしてきました。

部活OB・OGたちの絆 ソフトテニス部の巻



私たち耐久高校ソフトテニス部は、現在男子18名、女子9名の計27名で、学校のテニスコート(3面)と湯浅城のテニスコート(人工芝)をお借りして毎日練習に励んでいます。

今年度の県大会の成績は、男子は夏の総体では団体第3位(近畿大会出場)と健闘し、女子は残念ながら一回戦で敗れましたが最後まで粘りを見せました。そして、秋の新人大会は、男子は団体第3位、女子は個人戦で見事な活躍を見せ、2チームが県の選抜のインドア大会に出場しました。この

ように日頃の練習の成果が着々と試合に残せるようになってきました。

今後の私たちソフトテニス部の目標は、夏の総体で団体戦・個人戦で上位入賞をし、インターハイに出場することです。そのためには、これまでの試合を振り返り、一人一人が基本に戻り一球一球、一打一打を大切にしてい

近年の和歌山県勢の全国での活躍はめざましく、国体やインターハイで好成績を残しています。このレベルの高い県内で勝ち抜くことは容易ではありませんが、これまでのソフトテニス部の歴史や先輩方の活躍に負けないように日々の練習に打ち込み、ただ練習に時間を費やすのではなく、ソフトテニスを通じて何か大切なものを得て、チーム一丸となつて切磋琢磨していきたいと思っています。

ソフトテニス部
男子主将 上山 裕人
女子主将 箕澤 玲奈



◎「和食」が昨年十二月、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されました。国内では、一昨年の那智「田楽」に続く二十二件目。食の関連では、我が国で初の登録だそうです。

中、和食登録の報と、決定理由が「世代から世代へと伝承される中で、日本人の結束を強めると共に、アイデンティティー(帰属意識)」と絆の感覚をもたらすことに重要な役割を果たしている」との評価に、喜びを感じられた方も多くおられたと思

います。

一汁三菜が基本の和食は、理想的な栄養バランスと言われます。海、山、里の四季折々、多様な食材を調理し、彩りよく盛り付け頂くことは、地産地消にも深く結びついています。自然の恵みに感謝し、食を通じて家族や地域の絆を育んできた和食。海外でも和食ブームと耳にしますが、私達こそが、和食を見つめ直す良き機会としたいものです。

◆ご献金に感謝

- ・有田高女同窓会様
- ・高校13期同窓会様

この地にて
結んだ絆
たずさえて
飛翔くつばさ
たくましくあれ



同窓俳壇

古川 美代 (高13期)

潮騒の柳の浜辺の初明り

神田 公子 (高25期)

気づかひの八十路の母の初電話

同窓歌壇

楠本 弘子 (高女28期)

校庭の桜吹雪も遙かなり

希望語りし友どちよ今は

池永 義子 (高21期)

葉落として天に根を張る柿の木に

冬に向かふる樹の強さ見ゆ

『編集後記』

耐久創立以来161年、同窓生は2万8千人近くを数えます。各分野に、多士済済優れた人物を輩出し、伝統の重みを感じます。卒業生の皆さんも仲間入りです。「艱難は汝を玉となす」努力を怠らず精進して下さい。きつと未来は拓けます。

下野同窓会長が退任され、大西新会長が就任されました。下野前会長はじめ退任された役員の皆様、永年にわたりご苦勞様でした。有田耐久会も柏原会長から吉松新会長にバトンタッチされました。耐久同窓会は、また新たな歴史を刻もうとしています。

今年度も、各期で同窓会が開催され、和氣あいあいと旧交を温めました。その様子が臨場感溢れる文章で報告されています。

特集は、定年後明恵研究に没頭され資料を収集、著書「明恵さん」を出版された前寿二氏に寄稿していただきました。

恒例の「がんばれ母校」講演会では、東京都スポーツ振興局理事の雑賀真氏氏が東京オリンピック・パラリンピック誘致活動について講演され、生徒達に深い感銘と多大の感動を与えました。

会報編集部は、より興味深く、より楽しい記事の掲載を目指しています。紙面についてのご意見、ご要望を事務局にお寄せ下さい。また、会報は配布部数が限られています。できるだけ多くの同窓生に見ていただくよう、ホームページでの閲覧も可能であることをお知らせいただければ幸いです。